

動物

の

診察室

から

○ 29 ○

先日の外来で、ヨークシャーテリアの診察をしました。4歳の女の子で体重は1キ、名前はアンちゃんです。アンちゃんは10カ月くらい前から視力がなくなり、歩行もふらついていて、3日前からは、立つことができなくなり、ずーっと鳴き続けているとのことでした。

飼い主さんに、アンちゃんに重度の水頭症で、経過が長く脳が薄くなっていること、症状の急速な悪化があるた

神様の贈り物

幸運な偶然で無事手術

検査の結果の診断は、「水頭症」です。それも、経過が長く症状としても重度でした。

水頭症とは、チワワなどの超小型犬に時として見られるもので、頭蓋骨内の脳脊髄液が多くなり、脳を圧迫するためめいれんや視力障害などの症状が見られる病気で、アンちゃんの症状は、脳圧が高くなっているためのもです。すぐに脳

め、このまま脳圧を下げることで難いこと、アンちゃんを助ける方法として一番可能性があるのは外科的な処置であることを説明しました。

側脳室内に入れます。そしてチューブの反対側を頸部、腹部の皮膚の下を通して、腹腔内に入れま

す。そうすることで脳脊髄液はおなかの中に流れるようになります。体表から脳圧の調節ができます。

ただ、問題は大学病院に依頼してもすぐの対応は難しいこと、また、新

水頭症の外科治療は、後頭部に小さな穴を開けて、そこからシャントチューブというチューブを

側脳室内に入れます。そしてチューブの反対側を頸部、腹部の皮膚の下を通して、腹腔内に入れま

す。そうすることで脳脊髄液はおなかの中に流れるようになります。体表から脳圧の調節ができます。

ただ、問題は大学病院に依頼してもすぐの対応は難しいこと、また、新



面会に来たお母さんに抱かれるアンちゃん

はありませぬので、東京に連れて行かなければなりません。東京へ行かな

が、小児用の一番小さいチューブ一つだけが、人の診療施設より返品されてあるとのことでした。アンちゃんのご家族も手術を希望されたので、そのチューブを使いシャン

ト術を施しました。アンちゃんは術後4日目に食事を取れるようになりました。

視力はなくまだ立つことはできませんが、痛みがなくなりぐっすりと眠れるようになりました。普段用意されていることがないシャントチューブ、それも、アンちゃんが必要としている一番小さなチューブだけがあつたこと、このチューブは神様からの贈り物だったと思います。アンちゃん、がんばりましょうね！